

SGH 通信 STONE SOUP

Mishima-Kita High School SGH Newsletter

October 31, 2016 No. 5

ベトナム海外研修 現地高校でプレゼン

ベトナムは、人口 9340 万人のうち約半数が 30 歳以下、経済成長率が 6.7% (日本は 0.4%) という国です。13 人の生徒は、わが国とは正反対ともいえる活況を肌で感じて来ました。そして現地高校生に対してプレゼンテーションをしたり、現地で活躍する日本人のビジョンやミッションを聴いたりしました。貴重な体験でした。

大切なのはこれからです。「LWI」や「GWI」で仲間をサポートし、三島北高 SGH を牽引し成果を挙げなければなりません。社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を確実に身に付けなければなりません。貴重な体験には、多額の国費 (税金) が投入されています。「無駄遣い」とされれば、返金しなくてはなりません。

(副校長・笠井義明)

ベトナム研修の 5 日間は私にとって本当にかげがえのないものとなりました。朝、ホテルの窓から見えるハノイの旧市街の景色、建物と建物の中で開かれる屋台、道ばたで売られている野菜一何かもが新鮮でした。現地的高校を訪問した際に尋ねられた高度な質問には、悔しいことに上手く答えることができませんでした。しかし、ベトナムの高校生の英語の達者さ、自分の意思をはっきり伝えている姿を見てとても刺激を受けました。私ももっとハングリー精神で取り組んでいこうと思えました。

この海外研修で身をもって異国・異文化を実感できたのは自分にとってとても大きなプラスとなりました。今後の事後研修も、現地での大学での講義や JICA の方から聴いた話を生かし、いいプレゼンテーションを作り上げていきたいです。(17HR・宮崎蓮)



ハロン湾で JICA 専門家の指導を受けながら、海水の透明度を測る透明度板を実際に使ってみる。「海水は緑色で、水深 2m で見えなくなっていました」(14HR・福岡良美)

LWI フィールドワーク

私たちのグループの課題研究は、「水を用いた三島の活性化及び PR 方法について」をテーマにしており、夏休みに 3 つのフィールドワークを行いました。最初に行ったのは、水の使われているレシピ作りです。三島産の材料を使用した水信玄餅と水饅頭を作りました。次に、源兵衛川の探索を行いました。ランドワーク三島さんの企画のもと、源兵衛川に生息する生物を教えていただき、写真撮影をしました。最後は、三島市役所への取材です。PR について、市の重要な意見がいただけました。

今後は、これらの活動を踏まえた広報方法を考え、実行していこうと思います。(11HR・小林香穂)



三島市を流れる源兵衛川でグループの仲間と一緒にフィールドワークを実施する生徒たち。炎天下でも冷たい清流が素足に心地よい。たも網を片手に息を潜めて水生生物の探索に夢中になる。

1. 2年生新科目 GWI スタート

2年次に履修する Global Water Issues[GWI:世界の水問題]では、最初に個人探究を行い、英文エッセイに取り組む。もちろんLWIとの大きな違いは、様々な課題設定が考えられる世界を対象にすることである。専門家の助言に加え、外国人講師によるサポートも受ける(写真)。必然的にレジュメやポスターは英語で作成することになる。また、目指すゴールは1年次同様「英語によるポスターセッション」であるが、「英語での質疑応答」までを目標としたい。そのため、生徒たちにはGWIの授業だけにとらわれず、積極的な英語による受信・発信を日頃から心掛けていてもらいたい。(SGH 推進室長・川村陽一)



●GWIでは主に海外の水に関する問題を授業では取り扱っています。1年次のLWIとは違い、4月当初から英語でのレジュメ作成を求められるなど英語をバリバリ使うようになったので、やっとSGHらしくなってきたなと思います。海外の事例を扱うのでフィールドワークは難しく、比較的仮説が多くなってしまいましたが、その中でもどう課題に対応するかといった社会に出て必要な真の実力が問われる授業で、大変興味深いです。(25HR・中野基生)

2. 「三北ウォーター・フォーラム準備セッション」で専門家が支援

6月17、22、23日、1年生のLWIと2年生のGWIで各チームが設定した課題について、さまざまな分野の専門家による課題策定指導が行われました。生徒は専門家からの助言をもとに探究内容を明確なものとし、今後取り組むべきことを共有しました。専門家を派遣してくださった企業・団体は次のとおりです(順不同)。JICA、WaterAid Japan、栗田工業(株)、アクアスフィア、東レ(株)、八千代エンジニアリング(株)、国土交通省沼津河川国道事務所(写真)、アサヒグループホールディングス(株)。



3. エンパワーメント講座を開催

8月8~12日の5日間、アメリカのハーバードやカリフォルニア大学等の一流大学で学ぶ学生との英語での討論を行う、エンパワーメントプログラムに、本校生徒35人が参加しました。アイデンティティやリーダーシップ等について語り、社会問題についてプレゼンテーションを行うことで、「人間力」と「英語のコミュニケーション能力」を身に付けるプログラムです。間違えることを恐れず、自分の意見や考えを伝える大切さを学びました。最後はみんなの前で、自分の夢について英語で語りました。



●「ポジティブ思考をもつこと」「英語で話すことを恐れないこと」—今の高校生にとって必要なことを学びました。このプログラムの中では、話を聞く時も意思を伝える時もすべて英語。始めは萎縮していた自分でしたが、終わる時には堂々と英語を使っていました(写真)。たった5日間ですが英語漬けの日々は、とても貴重な経験でした。(26HR・櫻井美里)

4. 「トビタテ! 留学 JAPAN」などで2年生5人が夏期短期留学へ

7~9月にかけて、文部科学省による「トビタテ! 留学 JAPAN」の選考を通過した2人と、本校後援会の海外研修奨学金を得た3人の合計5人の生徒が海外留学を経験しました。いずれも米国、カナダ、オーストラリアの語学学校に通いながら、それぞれのテーマを探究することができました。

●サンフランシスコは驚くほど多国籍な環境で、素晴らしい時間を過ごすことができました。24時間外国の友だちと過ごすことで、さまざまな文化の違いを見ることができました(写真)。以前の自分よりもタフでポジティブになったと思います。(25HR・吉野瑞稀)

